

清新第二中学校推薦基準

学校推薦は、中学校長の名において、その生徒を保証するという意味です。高校 3 年間、模範的な学校生活を過ごす生徒であることを保証するわけですから、中学校の 3 年間の学習状況、生活態度、学校行事への意欲等を総合的に判断して決めています。

清新第二中学校では、推薦者は、まず学校で検討し、職員会議を経て全職員の承認を得たうえで、学校長が最終決定する手順になっています。

清新第二中学校の推薦基準

(1) 学習面 [学力を向上させようと努力していること]

- ① 目標とする高校等で学ぼうとする意志がはっきりしている。
- ② 学力が各学校の推薦基準に達している。
- ③ 毎時間の授業にまじめに取り組んでいる。
- ④ 課題や宿題にまじめに取り組み、提出物等もきちんと出している。
- ⑤ 定期考査等において、カンニング等の不正行為がない。

(2) 生活面 [基本的生活習慣が身についていること]

- ① 欠席や遅刻が少ない。(特に 3 年生においては、それぞれが 10 日未満程度とする)
- ② 学校のルールに沿った生活ができている。
※頭髪、服装、持ち物、時間を守っている。
※チャイム着席、教材、教具の準備なども含む。
- ③ 日常の生活を向上させようと努力している。
- ④ 正しい判断や行動が出来る。
- ⑤ 集団の一員として自覚をもって生活している。特に友人や仲間に対するいじめや嫌がらせ等の行為を行っていない。

(3) その他の活動面 [積極的に集団に奉仕する気持ちを持ち、責任感がある]

- ① 生徒会・専門委員会・部活動・各学級・学年内の諸活動にまじめに取り組んでいる。
- ② 集団をよりよくするために、温かい配慮が出来る。

(4) 家庭生活

- ① 家庭生活におけるルールを守り、家族の一員としての自覚をもって生活できている。

(5) 社会生活上の触法行為

- ① 喫煙、万引き、飲酒等の触法行為をしていないこと。

上記を鑑みて、決定については総合的に判断をする。生活態度を反省し、改善していこうと努力していることが、明らかに認められる者については、再考の機会がもてるかどうか検討する。

学校外での顕著な活動実績や努力(スポーツ、文化的活動)等も考慮されますが、毎日の学校生活をまじめに努力していることが基本となります。また、上記に記載されていない内容であっても、明らかに不適切な言動や行為がある場合には、その都度、学校長が適切に状況を把握して推薦の可否を判断します。